

わが袖は潮干に見えぬ 沖の石の
人こそ知らね かわくまもなし

世の中はつねにもがもな 渚こぐ

あまの小舟の 綱手かなしも

み吉野の 山の秋風 さ夜ふけて
ふるさと寒く 衣うつなり